

情熱のチャイコフスキー 3大コンチエルトを一挙に!!

# 熱狂 2021 コンチエルト チャイコフスキー 3連投!

[ピアノ]  
上原彩子

[チェロ]  
伊藤悠貴

[ヴァイオリン]  
川久保賜紀

チャイコフスキー  
ロココ風の主題による変奏曲 イ長調 op.33

ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 op.35

ピアノ協奏曲 第1番 変ロ短調 op.23

[指揮] 飯森範親

[管弦楽] 日本センチュリー交響楽団

2021 **8.21**(土) 14:00開演(13:00開場) **ザ・シンフォニーホール**

S席 6,600円 A席 5,500円 B席 4,400円(税込) 主催:ザ・シンフォニーホール

ご予約・お問合せ ■ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333(10:00-18:00 火曜定休) <https://www.symphonyhall.jp>

プレイガイド ■e+(イープラス) <https://eplus.jp/symphonyhall> (パソコン・携帯)

■ローソンチケット <https://l-tike.com/> [Lコード:54431] ■チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード:189-680]

\*未就学児のご入場は御遠慮いただいております。\*やむを得ない事情により、出演者、曲目、曲順が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

# 真夏の チャイコ3連投! 熱狂コンチェルト

艶やかで流れるようなメロディと表情豊かなオーケストラの響き、感傷的で同時に凛々しい情感を湛え、どこかしら懐かしさの漂うチャイコフスキーの音世界。昨年やむなく中止された飯森範親&日本センチュリー交響楽団によるチャイコフスキー3大コンチェルトの公演開催が決定した。独奏を務めるのは、チャイコフスキー・コンクール第1位を獲得したピアノの上原彩子と最高位で入賞したヴァイオリンの川久保賜紀、そしてイギリスをベースに活躍するチェロの伊藤悠貴。ダイナミックかつ繊細な上原、典雅かつ気品あふれる川久保、そして才気あふれる伊藤…国際的に活躍する3人がこの日のためにザ・シンフォニーホールに集う。ロシア音楽を得意とする飯森と熱いセッションを繰り広げ、極上のチャイコフスキーを存分に聴かせるだろう。

文 道下京子

## 飯森 範親 [指揮] Norichika Iimori, Conductor

桐朋学園大学指揮科卒業。ベルリン、ミュンヘンで研鑽を積み、これまでにフランクフルト放送響、ケルン放送響、チェコ・フィル、モスクワ放送響等に客演。01年、ドイツ・ヴェルテンベルク・フィルハーモニー管弦楽団音楽総監督(GMD)に着任し、日本ツアーも成功に導いた。国内では94年以来、東京交響楽団と密接な関係を続け、現在は特別客演指揮者。06年度 芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞、07年より山形交響楽団音楽監督、2019年シーズンより山形交響楽団芸術総監督に就任。2014年シーズンより日本センチュリー交響楽団首席指揮者。2020年1月より東京佼成ウインドオーケストラ首席客演指揮者、同年4月より中部フィルハーモニー交響楽団首席客演指揮者に就任。

オフィシャル・ホームページ <http://iimori-norichika.com/>



## 伊藤 悠貴 [チェロ] Yuki Ito, Cello

15歳で渡英。2010年ブラームス国際コンクール優勝、11年英国最高峰として知られるウィンザー祝祭国際弦楽コンクールで日本人初優勝。19年齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞。2011年フィルハーモニア管弦楽団との共演でデビュー、以来国内外の主要オーケストラをはじめ、ウィグモア・ホール、ロイヤル・フェスティバル・ホールなどヨーロッパ各地の著名ホールに招かれているほか、これまでにアシュケナージ、ゲリンガス、一柳慧、小澤征爾、小林研一郎などと共演を重ねている。ラフマニノフ作品、およびイギリス音楽の研究・普及をライフワークとし、交響曲・合唱曲などの編曲も多数行う。使用楽器は日本ヴァイオリンより貸与の1734年製ゴフリラー。



## 川久保 賜紀 [ヴァイオリン] Tamaki Kawakubo, Violin

2001年サラサーテ国際ヴァイオリン・コンクール優勝、2002年チャイコフスキー国際音楽コンクール・ヴァイオリン部門最高位受賞以来、若くして、主要な北米オーケストラと共演し、豊富なステージ経験を積む。日本へは1997年、チョン・ミョンファン指揮アジア・フィルのソリストとしてデビュー。以後、国内外様々なオーケストラと共演を重ね、高度な技術と作品の品位を尊ぶ深い音楽性に高い評価を得ている。近年は自ら企画するコンサートを行うなど、コンサート・プロデューサーとしての才能も発揮、リサイタルだけではなく室内楽にも積極的に取り組み、究極のアンサンブルを追求し続けている。後進の指導にも積極的に取り組み、2018年より桐朋学園大学院大学(富山)教授に就任。



## 上原 彩子 [ピアノ] Ayako Uehara, Piano

第12回チャイコフスキー国際コンクール ピアノ部門において、女性としてまた、日本人として史上初めての第一位を獲得。第18回新日鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞受賞。これまでにヤノフスキ、ノセダ、ルイジ、ラザレフ、ブラピンス、ペトレンコ、小澤征爾、小林研一郎、飯森範親、各氏等の指揮のもと、国内外のオーケストラとの共演も多く、2017年3月には、ベルリン及び日本国内4都市において、エリアフ・インバル指揮ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団と共演、高い評価を受けた。東京藝術大学音楽学部早期教育リサーチセンター准教授。

オフィシャル・ホームページ <https://www.japanarts.co.jp/artist/AyakoUEHARA>



## 日本センチュリー交響楽団 [管弦楽] Japan Century Symphony Orchestra

日本センチュリー交響楽団は1989年に活動を開始し、2019年に楽団創立30周年を迎えた。現在は50名のメンバーが在籍。飯森範親が首席指揮者、秋山和慶がミュージックアドバイザーを務め、2021年4月より久石譲が首席客演指揮者に就任。ザ・シンフォニーホールで開催するシンフォニー定期演奏会、ハイドンの交響曲全曲演奏・録音プロジェクト「ハイドンマラソン」に加えて、豊中市立文化芸術センターでの名曲シリーズを展開する。オーケストラ体感コンサート「タッチ・ジ・オーケストラ」をはじめ教育プログラムや地域連携事業にも力を入れている。

オフィシャル・ホームページ <https://www.century-orchestra.jp/>

